

## 指定管理者評価シート

### 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市沖野老人福祉センター	
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会事業協会	
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・ 令和3年度 16,577人（前年度比 103.8%） ・ 令和2年度 15,974人（前年度比 44.6%） ・ 令和元年度 35,836人（前年度比 95.5%）	
	《事業》 ・ 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。	
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 37,504千円（37,454千円） ・ その他市が負担した費用 2,090千円（286千円）	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円（0千円） ・ その他収入 0千円（0千円）	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 令和4年2月に利用者アンケートを実施した。また、管理運営委員会において各委員との意見交換を行い、提案内容や要望等を反映し、事業運営を行った。	

( )は前年度決算額

### 二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、管理運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

### 三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会事業協会）による自己評価》
<p>施設の目的や基本方針等、館内に掲示して利用者に周知した。職員に対しては、定例の会議の際に、年度ごとの重点目標などを職員間で共有した他、毎朝行っているミーティングの際に、必要事項に関しての情報共有を図った。</p> <p>施設の管理運営面では、指定管理料の執行状況を適宜確認し、委託業者による設備・保守点検と職員による定期的な館内設備点検実施により利用者が安全で快適な環境を維持できるように努めた。また、消耗品や事務用品などの在庫管理を徹底し、適正な予算管理に努めた。</p> <p>リスクマネジメントの取り組みとして、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するため、衛生用品や感染症予防に必要な備品の確保に努め開館中定期的に各部屋の消毒・換気・ソーシャルディスタンス等職員が声を掛けながら実施、また、入館時の検温を徹底、館内でのマスク着用願いやアルコール消毒など館内掲示に併せ、声かけ等も利用者へ啓発し、感染拡大防止に努めた。また、災害発生時に備え福祉避難所開設要請時に職員が滞りなく対応できるよう訓練を実施した。</p> <p>サービスの質の向上に向け、利用者アンケートや管理運営委員会のみならず、新型コロナウイルス感染症の中において可能な限り日常のコミュニケーションにおいて利用者のニーズを汲み取るよう心掛けた。また、地域福祉の情報共有・連携強化のため沖野・上飯田の各町内会や館町内福祉委員会、沖野地域包括支援センター、沖野市民センター等各種関係機関と連携することで高齢者だけでなく世代間の地域福祉に寄与することができた。月1回発行する広報紙を近隣の商店・関係機関に配布し、またホームページに実施事業をアップロードし、センターや活動サークルのPRに努めた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和3年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>施設の目的や基本方針等、館内に掲示して利用者に周知した。職員に対しては、定例の会議の際に、年度ごとの重点目標などを職員間で共有した他、毎朝行っているミーティングの際に、必要事項に関しての情報共有を図り、館としての管理運営の意識の共有を図った。</p> <p>リスクマネジメントの取り組みとして、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するため、衛生用品や感染症予防に必要な備品の確保に努め開館中定期的に各部屋の消毒・換気・ソーシャルディスタンス等職員が声を掛けを実施、また、入館時の検温を徹底、館内でのマスク着用願いやアルコール消毒など館内掲示に併せ声かけも行い、感染拡大防止に努めた。また、災害発生時に備え福祉避難所開設要請時に職員が滞りなく対応できるよう訓練を実施する等、リスク管理が適切になされている。</p> <p>そのほか地域の関係機関と連携して情報共有を図るなど、地域福祉の発展に向け積極的に取り組んでおり、総合的に高く評価できる。</p>	S

#### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課